

デザイン **BOX**

操作マニュアル

2023/12/18

サイバーステーション株式会社

目次

■ 基本操作編

- ・各部位説明 . . . 3 P
- ・起動と終了 . . . 4 P
- ・ソフトウェアキーボード . . . 5 P
- ・ネットワーク接続設定 . . . 6 P
- ・ディスプレイ設定 . . . 16 P
- ・メニュー一覧 . . . 25 P
- ・メニュー画面 . . . 26 P
- ・キーボード操作 . . . 28 P
- ・入力時の操作 . . . 29 P

■ 再生

- ・スケジュール再生 . . . 31 P
- ・推奨エンコード設定 . . . 32 P
- ・その他再生ファイルの設定値 . . . 33 P

■ 設定

- ・ネットワーク設定 . . . 35 P
- ・タイムサーバー設定 . . . 37 P
- ・クライアント認証 . . . 38 P
- ・設定診断 . . . 41 P
- ・リフレッシュ設定 . . . 42 P
- ・同期設定 . . . 43 P
- ・音量設定 . . . 46 P

- ・スケジュール再生継続設定 . . . 47 P

■ 操作

- ・フォーマット . . . 49 P
- ・ログ表示 . . . 50 P
- ・デジサインファームアップ . . . 54 P
- ・シャットダウン . . . 55 P

■ その他

- ・使用許諾 . . . 57 P
- ・デジサインファームウェアアップデート . . . 58 P
- ・リモコン操作 . . . 59 P

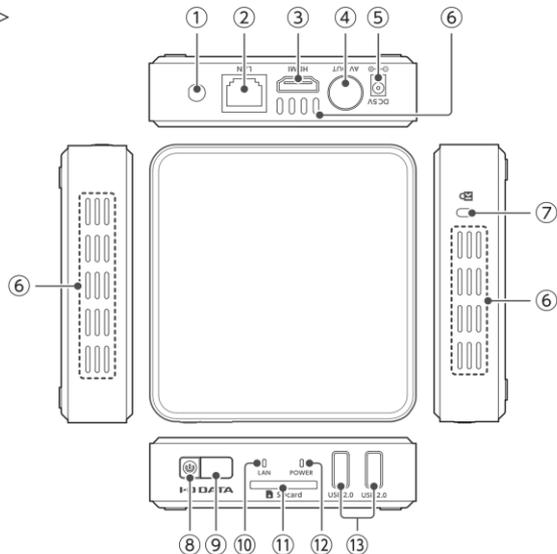
■ 運用

- ・デジサインBOXの電源の状態とリフレッシュ動作 61 P
- ・ディスプレイ連動機能について . . . 62 P

基本操作編

基本操作編 各部位説明

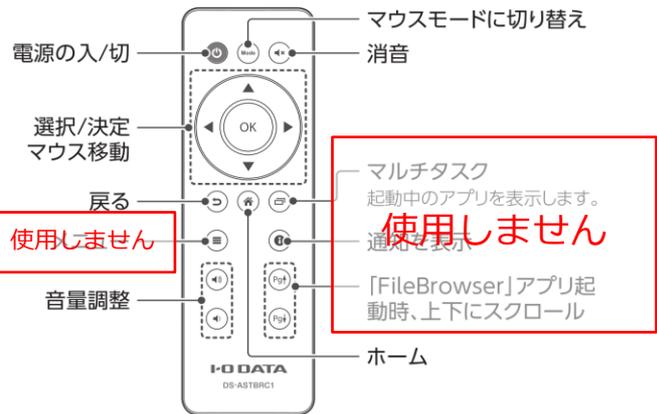
<本体>



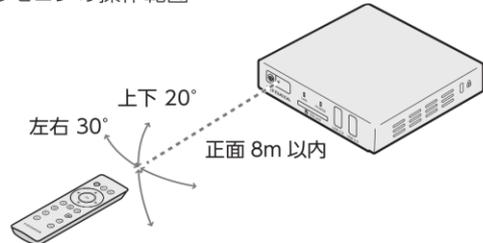
- ① Wi-Fiアンテナ端子
Wi-Fiで接続する場合、添付のWi-Fiアンテナを取り付けます。
- ② LAN端子
必要に応じて、LANケーブルをつなぎます。
- ③ HDMI端子
テレビやディスプレイにつなぎます。
※HDMIケーブルは別途ご用意ください。
- ④ AV端子
音声を別で出力したい場合やIR延長ケーブルを利用したい場合、添付のRCA変換ケーブルをつなぎます。
- ⑤ 電源端子
添付のACアダプターをつなぎます。
- ⑥ 通気口
ふさがらないでください。
- ⑦ セキュリティスロット
- ⑧ 電源ボタン
押すと、電源が入ります。
- ⑨ リモコン受光部
受光部が隠れる場所に設置する場合は、添付のIR延長ケーブルをご利用ください。
- ⑩ LANランプ
通信時：点滅
- ⑪ SDカードスロット
必ずしてSDカードを挿入します。
(128GBまで対応)
- ⑫ 電源ランプ
起動時：緑色 スタンバイ時：赤色
- ⑬ USB 2.0ポート
必要に応じて、USBストレージ、マウス、キーボードをつなぎます。

使用しません

<リモコン>



○リモコンの操作範囲



※IR延長ケーブルを使用する場合
操作範囲は8m、角度は上下左右45度です。

○リモコン使用時のご注意

- ・強い衝撃を与えないでください。
- ・水などの液体がかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合はただちに拭き取ってください。
- ・熱や蒸気にさらさないでください。
- ・乾電池を取り付ける時以外はリモコンのカバーを開けないでください。

※赤枠はデザインBOXでは使用しません。

基本操作編 起動と終了

■ 「デジサインBOX」の起動方法

本体正面の電源ボタン、または付属のリモコンの電源ボタンを押す。

※クライアント認証（35ページ参照）前の場合はネットワーク設定画面を表示します。

※クライアント認証が完了し、デジサインサーバと同期済みの場合 自動で番組を再生します。

■ 「デジサインBOX」の終了方法

終了方法は下記の3通りがあります。

- ・リモコンの電源ボタンを押す。
- ・本体正面の電源ボタンを押す。
- ・「デジサイン」のシャットダウン機能から「シャットダウン」を選択。（51ページ参照）

基本操作編 ソフトウェアキーボード

■ソフトウェアキーボードの利用

文字入力する際はソフトウェアキーボードを利用します。

■ソフトウェアキーボードの表示方法

入力項目を選択、またはリモコンボタンの「OK」ボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが表示されます。

■入力方法

入力には、リモコンの中央の上下左右のボタンを利用し、入力文字にカーソル（ハイライト表示）を合わせ「OK」ボタンを押します。

■入力終了方法

「戻る」ボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが消えます。



基本操作編 ネットワーク接続設定(1/10)

■ 無線LANの接続方法

1. リモコンの「ホーム」ボタンを押し、ホーム画面を表示します。
2. ①の設定アイコンを選択して「OK」ボタンを押しします。



基本操作編 ネットワーク接続設定(2/10)

3.設定画面より②の「Wi-Fi」を選択します。

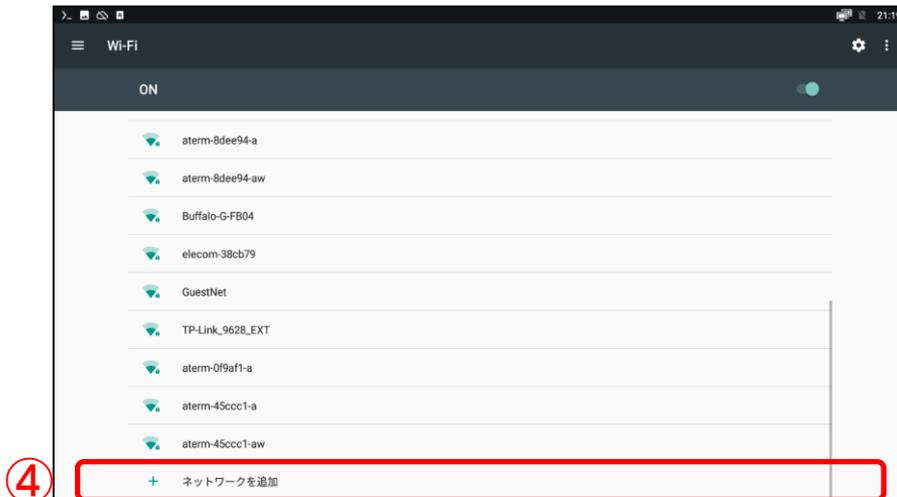


基本操作編 ネットワーク接続設定(3/10)

4.③のSSIDの一覧からSSIDを選択します。

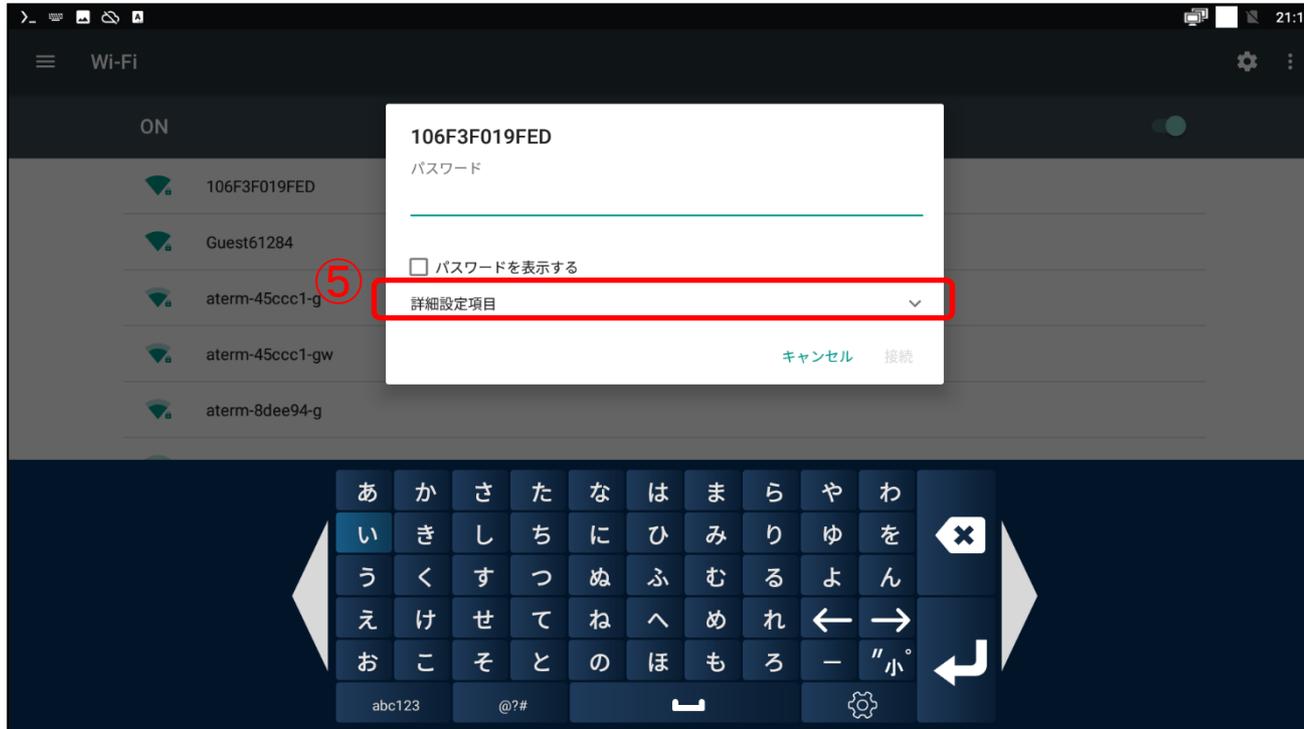


※ステルス設定されたSSIDを指定する場合は、画面下部にある④の「ネットワークを追加」を選択します。



基本操作編 ネットワーク接続設定(4/10)

- 5.入力項目にカーソルを合わせる、または「OK」ボタンを押すことで、ソフトウェアキーボードが表示されます。入力が終わったらリモコンの[戻る]ボタンを押し、[接続]を押します。



※DHCPの有効・無効やIPを変更する場合は、⑤の「詳細設定項目」を押すと、追加の入力項目が表示されます。

基本操作編 ネットワーク接続設定(5/10)

6. 「セキュリティ」を押すとセキュリティの設定が行えます。
選択したセキュリティによって追加の入力項目が表示され、設定が行えます。



基本操作編 ネットワーク接続設定(6/10)

7. 「詳細設定項目」を押すと追加の入力項目が表示されます。
IP設置のDHCPを静的に変更するとIPの設定が行えます。

ご参考資料 (プレフィックス長の設定値)

サブネットマスク	プレフィックス長
255.0.0.0	/8
255.128.0.0	/9
255.192.0.0	/10
255.224.0.0	/11
255.240.0.0	/12
255.248.0.0	/13
255.252.0.0	/14
255.254.0.0	/15
255.255.0.0	/16
255.255.128.0	/17
255.255.192.0	/18
255.255.224.0	/19
255.255.240.0	/20
255.255.248.0	/21
255.255.252.0	/22
255.255.254.0	/23
255.255.255.0	/24
255.255.255.128	/25
255.255.255.192	/26
255.255.255.224	/27
255.255.255.240	/28
255.255.255.248	/29
255.255.255.252	/30
255.255.255.254	/31

基本操作編 ネットワーク接続設定(7/10)

■ 有線LAN設定

1. リモコンの「ホーム」ボタンを押し、ホーム画面を表示します。
2. ①の設定アイコンを選択して「OK」ボタンを押しします。



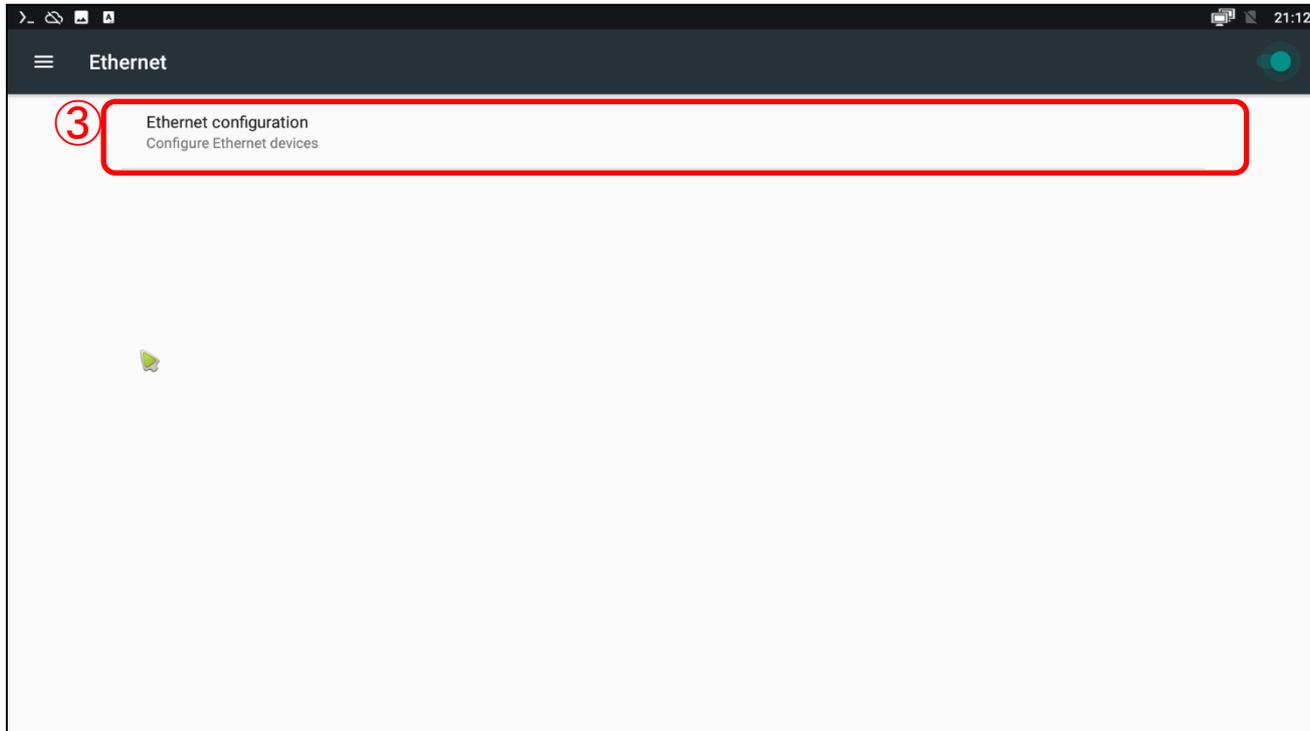
基本操作編 ネットワーク接続設定(8/10)

3.設定画面より②の「Ethernet」を選択します。



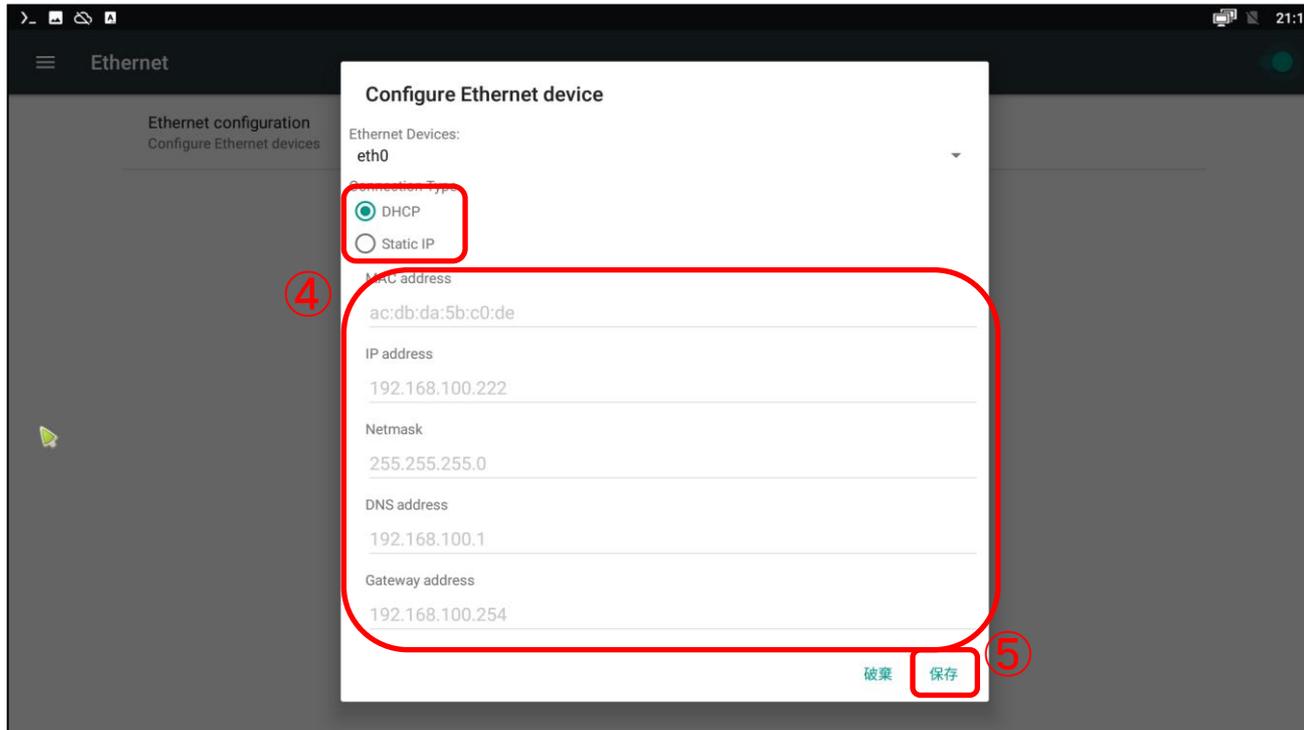
基本操作編 ネットワーク接続設定(9/10)

4.③の「Ethernet configuration」を選択します。



基本操作編 ネットワーク接続設定(10/10)

5. 入力項目を選択する、またはOKボタンを押すことで、ソフトウェアキーボードが表示されます。入力が終わったらリモコンの[戻る]ボタンを押すと、ソフトウェアキーボードが終了します。デフォルトでは「④[DHCP]」が選択されています。IPを入力するときは「Static IP」を選択します。各項目の入力が終わりましたら、⑤[保存]を選びます。



基本操作編 ディスプレイ設定(1/9)

■ 解像度の変更

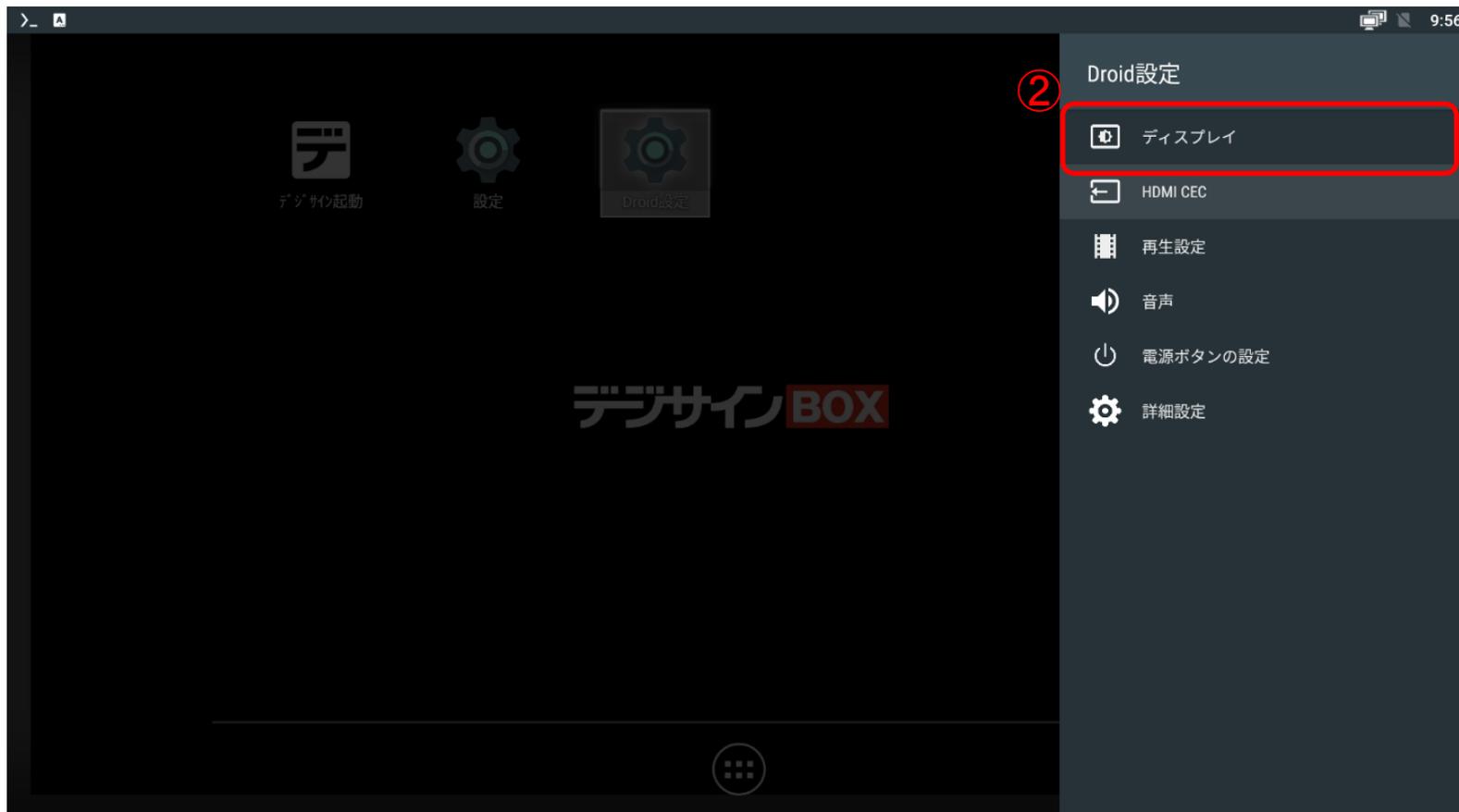
※デザインBOXは4Kに対応していません。4K対応ディスプレイをご利用する際は必ず、解像度を変更ください。

1. リモコンの「ホーム」ボタンを押し、ホーム画面を表示します。
2. ①の「Droid設定」アイコンを選択して「OK」ボタンを押します。



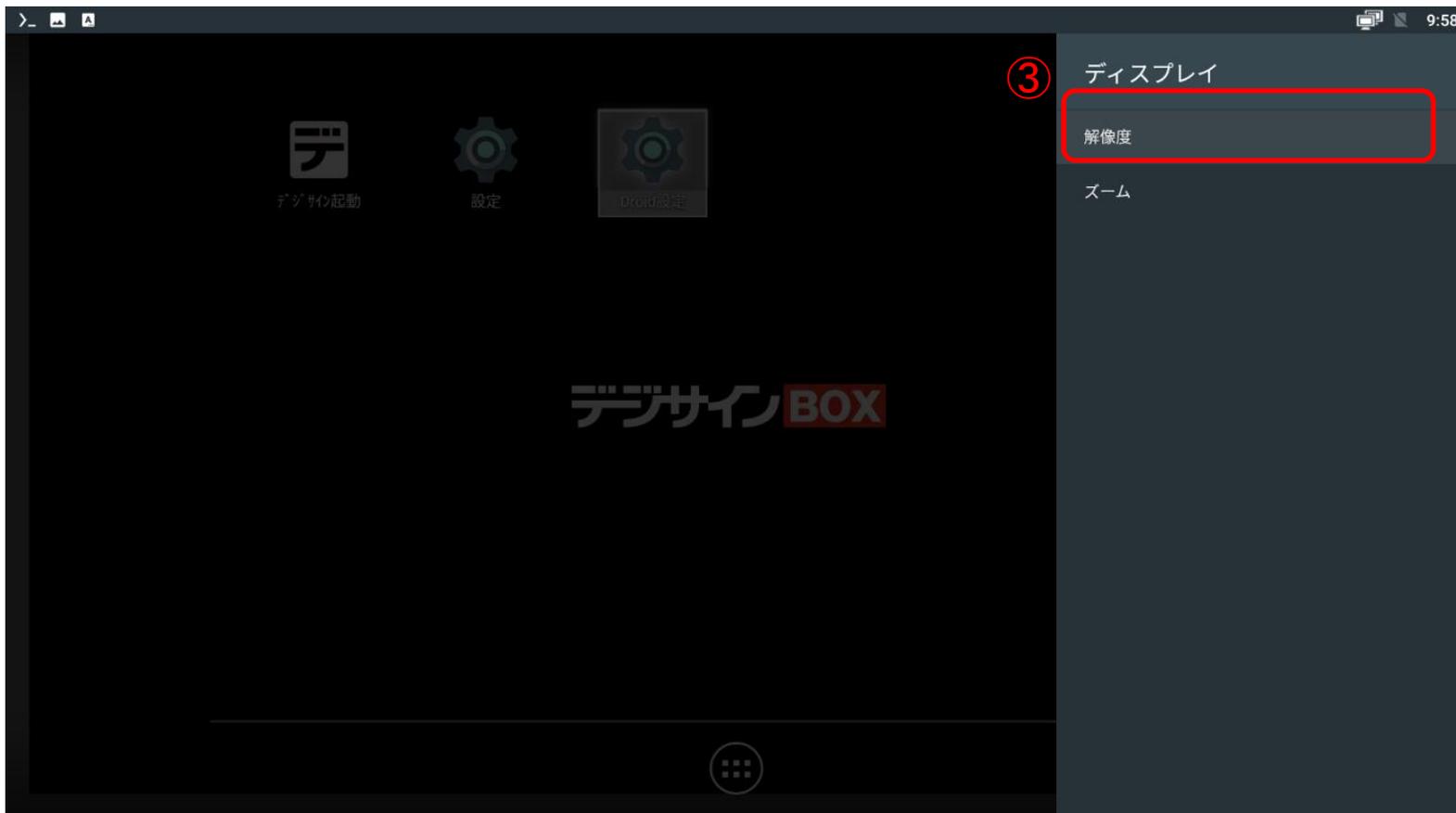
基本操作編 ディスプレイ設定(2/9)

3.メニューより②の「ディスプレイ」を選択します。



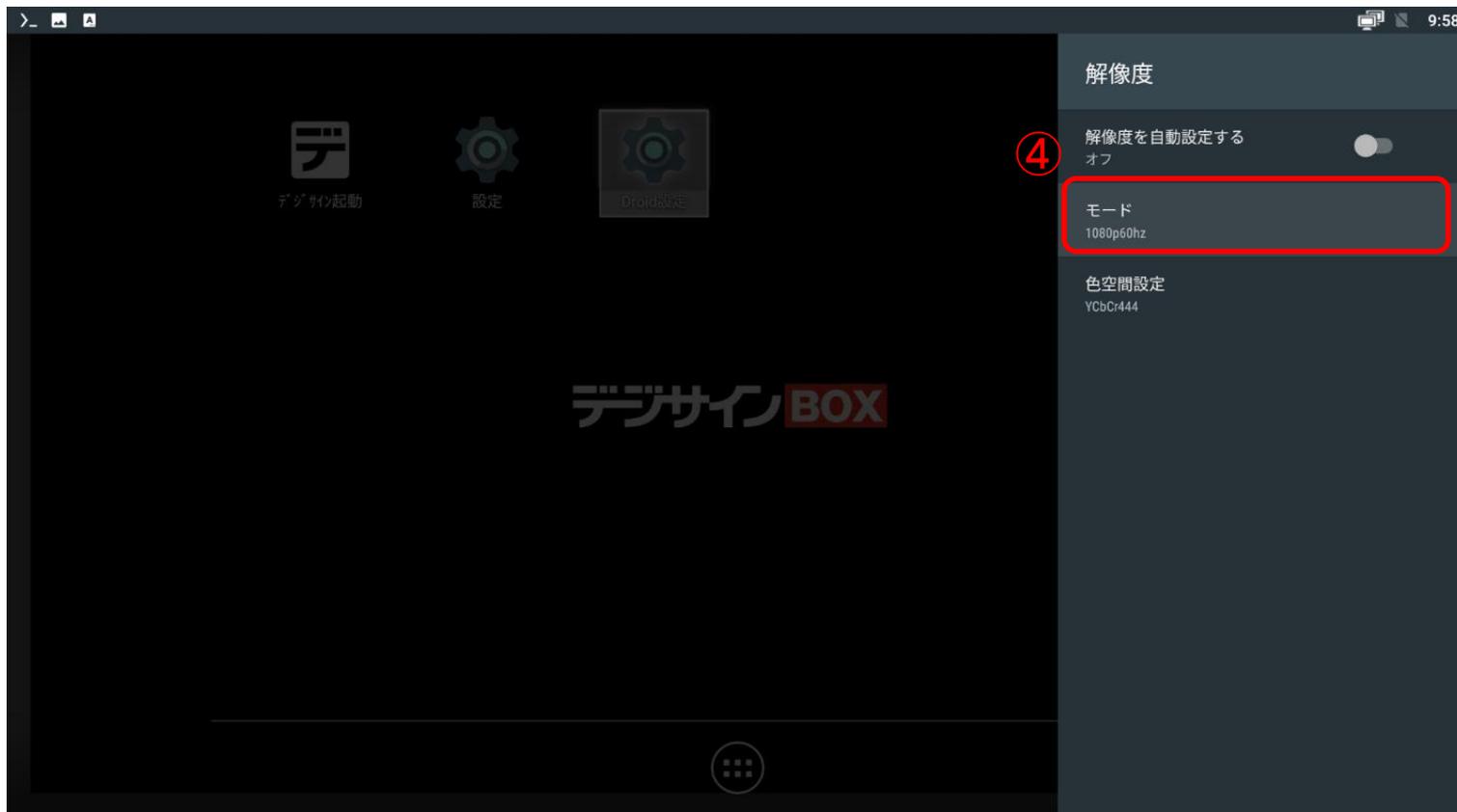
基本操作編 ディスプレイ設定(3/9)

4. ③の「解像度」を選択します。



基本操作編 ディスプレイ設定(4/9)

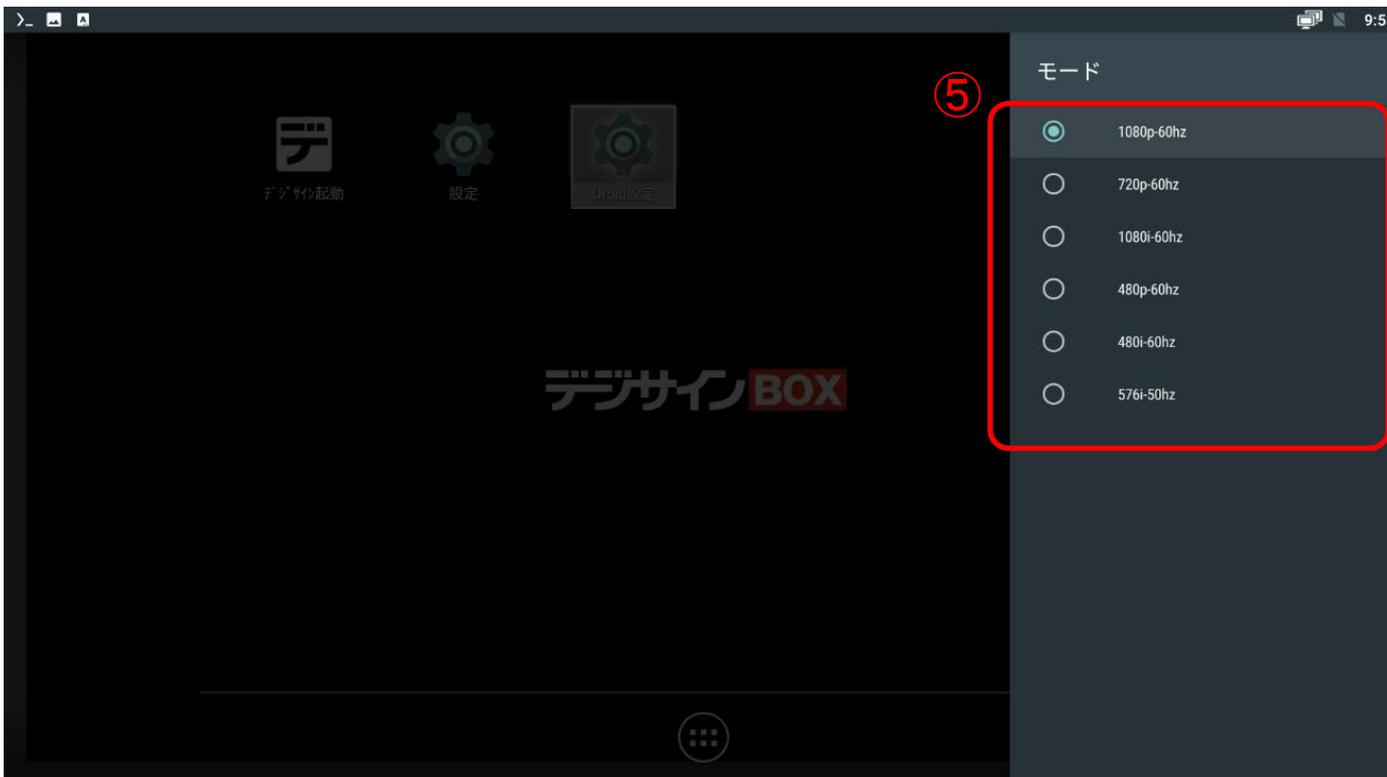
5. ④の「モード」を選択します。



基本操作編 ディスプレイ設定(5/9)

5. ⑤のように表示されている選択項目から下記解像度のどちらかを選択します。

- ・1080p-60hz (FHD:1920×1080 px)
- ・720p-60hz (HD:1280×720 px)



基本操作編 ディスプレイ設定(6/9)

■スクリーンモードの変更

ディスプレイを縦置きに設置する場合に、画面表示を回転するために利用します。

1. リモコンの「ホーム」ボタンを押し、ホーム画面を表示します。
2. ①の設定アイコンを選択して「OK」ボタンを押しします。



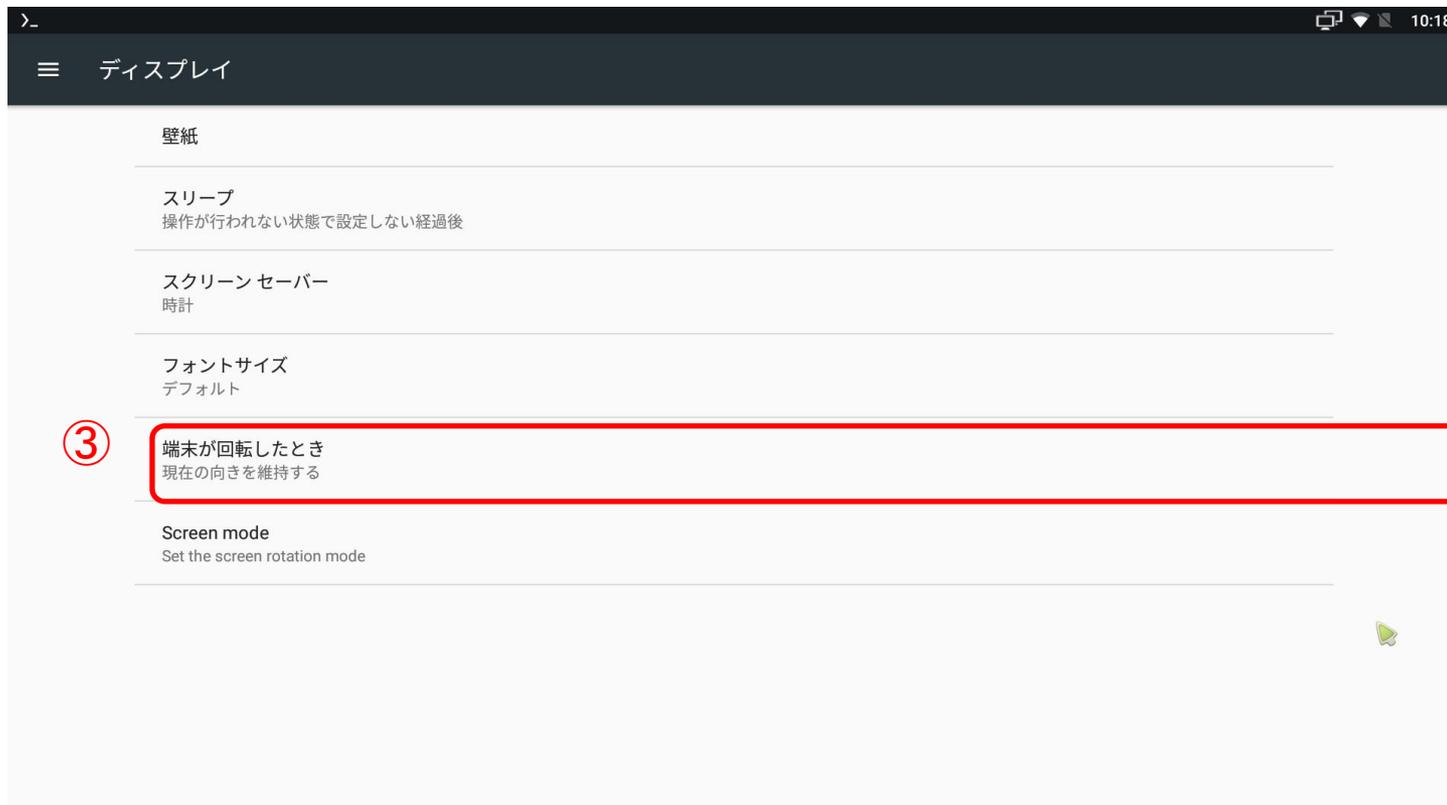
基本操作編 ディスプレイ設定(7/9)

3.設定画面より②の「ディスプレイ」を選択します。



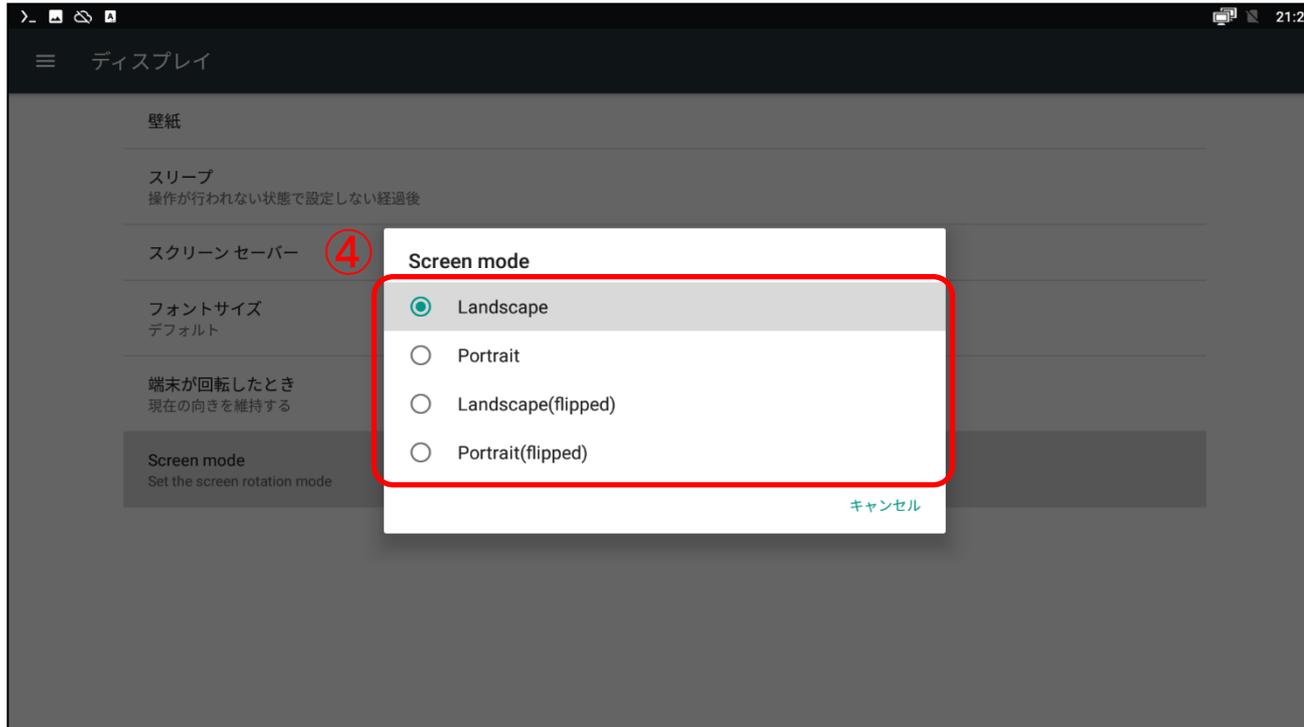
基本操作編 ディスプレイ設定(8/9)

4. ③の「Screen mode」を選択します。



基本操作編 ディスプレイ設定(9/9)

5. ④の選択項目から回転方法を選択します。
- Landscape : 画面横長 (初期値)
 - Portrait : 画面縦長
 - Landscape (flipped) : 画面横長を上下反転
 - Portrait (flipped) : 画面縦長を上下反転



基本操作編 メニュー一覧

デジサインBOXとデジサイン管理システムとの認証状態により、利用できるメニューが異なります。
 ○は利用できるメニューです。

分類	機能	デジサインBOX	
		未認証	認証済
ホーム		○	○
再生	スケジュール再生	○	○
設定	ネットワーク設定	○	○
	タイムサーバー設定	○	○
	クライアント認証	○	○
	設定診断	×	○
	リフレッシュ設定	○	○
	同期設定	×	○
	音量設定	○	○
	スケジュール再生継続設定	○	○
操作	フォーマット	○	○
	ログ表示	○	○
	デジサインファームアップ	○	○
	シャットダウン	○	○
その他	使用許諾	○	○

基本操作編 メニュー画面(1/2)

■ 「メニュー画面」を表示するには

キーボードで「Ctrl」 + 「Alt」 + 「1」を押すか、リモコンの「上矢印」、「下矢印」ボタンを押すと、メニュー画面（下図）が表示されます。

ホーム
最終同期時刻 2021年05月05日20時44分

メニュー

- ▶ ホーム
- ▽ 再生
- ▽ 設定
- ▽ 操作
- ▽ その他

メニュー項目の説明	
ホーム	現在のファームウェアのバージョンと本体のシリアル番号が表示されます。
再生	スケジュール再生を行います。
設定	以下の設定が行えます。 ネットワーク クライアント認証 同期設定 設定診断 リフレッシュ設定 音量設定 スケジュール再生継続設定
操作	以下の操作が行えます。 フォーマット ログ表示 再起動・シャットダウン ファームアップ
その他	使用許諾を確認できます。

基本操作編 メニュー画面(2/2)

■「メニュー画面」に表示されている情報

①最終同期時刻

デジサインサーバと同期した最終時刻が表示されます。

②現在の配信ステータス

待機中：デジサインサーバと定期的に通信し、更新情報がなく、待機している状態です。
更新情報があれば、同期処理を実行します。

同期中：デジサインサーバとの同期処理中の状態です。

エラー：直前のデジサインサーバとの同期処理で失敗した状態です。

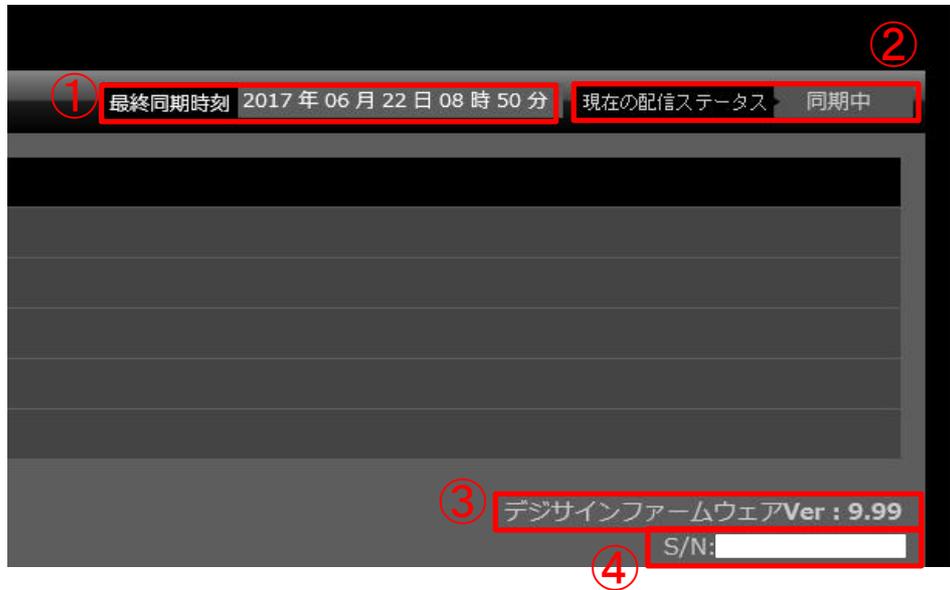
エラーの場合、ネットワーク環境に問題がある可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。

③デジサインファームウェアバージョン

現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

④S/N（製造番号）

本体の製造番号が表示されます。



基本操作編 キーボード操作(USBキーボード接続時)

操作目的	キーボード操作
メニューや項目を移動する	カーソルキー「↓」
メニューや項目を逆に移動する	カーソルキー「↑」
メニュー画面へ移動する	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「1」
最新ファームウェアの確認	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「3」
入力値を消す	「BackSpace」
スケジュール再生を開始する	「Ctrl」 + 「Alt」 + 「2」
次の番組にスキップする ※スケジュール再生中のみ有効	カーソルキー「→」

基本操作編 入力時の操作

	操作目的	キーボード操作
	メニューや項目を移動する	カーソルキー「↓」「↑」 (次の項目が表示されます)
	ラジオボタンの選択を切り替える	カーソルキー「→」「←」 ※ラジオボタンを選択している 状態で押してください。
	テキストボックスに入力する	仮想キーボード ※テキストボックス選択時に仮想 キーボードが表示されます。

再生編

再生編 スケジュール再生

■「スケジュール再生」とは

デザサイン管理システムの「スケジュール管理」で登録されているスケジュールにしたがって、番組を再生します。

※スケジュール設定で番組が登録され、同期が完了している場合に再生する事ができます。

■再生方法

「スケジュール再生」を選択すると読み込みを開始し(図1)、読み込み完了後、スケジュールに登録されている番組の再生が始まります。

ただし、デザサイン管理システムの「スケジュール管理」で番組が登録されていない場合や同期が完了していない場合は「番組がありません」というメッセージが表示されます。(図2)



図1



図2



再生編 推奨エンコード設定

ファイル形式	MP4、MOV	ファイルサイズ	500MB以下
オーディオ エンコード モード	CBR		
ビデオ エンコード モード	CBR		
オーディオコーデック	AAC、MP3		
オーディオ形式	192 kbps, 48 kHz, stereo CBR		
ビデオコーデック	MPEG2、H.264、H.265		
ビデオビットレート	20000Kbps以内		
ビデオサイズ	横：1920px × 1080px以内 縦：1080px × 1920px以内		
フレームレート	30fps以内		

再生編 その他再生ファイルの設定値

ファイル形式	jpg,jpeg,png
画面サイズ	横：1920px × 1080px以内 縦：1080px × 1920px以内 ※縦出力時は1080px × 1920px
解像度	100DPI以内(推奨値)

ファイル形式	pdf
ページ数	200ページ以内

設定編

設定編 ネットワーク設定 (1/2)

■ 「ネットワーク設定」とは

通信先ドメイン名とプロキシ情報の設定を行います。

■ ドメイン設定方法

USBキーボードまたは仮想キーボードを使用して、①通信先ドメイン名を入力します。

入力内容を確認後、③「設定」ボタンを押してください。

■ プロキシ設定方法

②「有効」を選択して、プロキシIPアドレス、ポート、プロキシユーザ、プロキシパスワードを入力します。
入力内容を確認後、③「設定」ボタンを押してください。

■ 通信確認

ドメイン設定方法やプロキシ設定方法の操作が完了しているときに④「通信確認」ボタンを押してください
※通信確認ボタンを押したときに表示される通信結果のメッセージは次ページに記載



設定編 ネットワーク設定 (2/2)

■ 通信結果一覧

表示文章	内容
通信に成功しました。	デジサインサーバとの通信確認が成功しました。
通信に失敗しました。	デジサインサーバとの通信確認が失敗しました。 以下の点を確認の上、再度通信確認を行って下さい。 ■ 「通信に失敗しました。」と表示される場合 1、ネットワーク設定の入力値をご確認ください。 2、ハブ・ルーターの電源状態をご確認ください。 3、LANケーブルの接続状態をご確認ください。

設定編 タイムサーバー設定

■ 「タイムサーバー設定」とは

現在のタイムサーバーの確認と、新しいタイムサーバーの設定を行います。

■ タイムサーバー設定方法

USBキーボードまたは仮想キーボードを使用して、①タイムサーバーを入力します。

入力内容を確認後、②「設定を適用し再起動」ボタンを押してください。

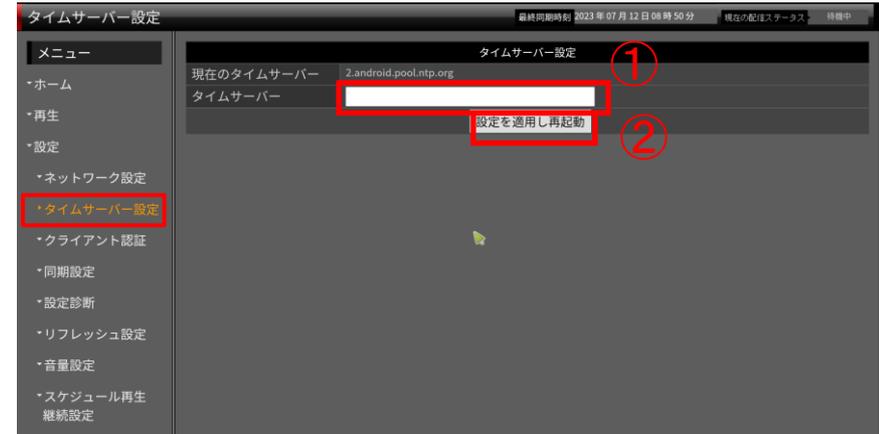
その後デジサインBOXが自動で再起動します。

※タイムサーバーはデフォルトで

『2.android.pool.ntp.org』で設定されています。

タイムサーバー設定後に空で設定すると上記デフォルトの設定に戻ります。

(pool.ntp.orgはタイムサーバの大きな仮想クラスタであり、インターネット上で使用できるタイムサーバーです。)



設定編 クライアント認証（新規認証手続き）

■「クライアント認証」（新規認証手続き）とは
デザインBOXをデザインサーバに新規登録
する手続きです。

■ 設定方法

- ①「新規認証手続き」を選択します。
- ②「認証ID・認証パスワード」を半角英数字で入力します。
- ③「端末名称」を日本語または英数字で入力します。
- ④入力完了後、「手続き」ボタンを押します。
 手続き成功の場合：自動的に「同期設定」ページに
 移動します。
 手続き失敗の場合：エラーが表示されます。（図1）
 入力内容を再度ご確認ください。

■ ライセンス数のエラー表示について

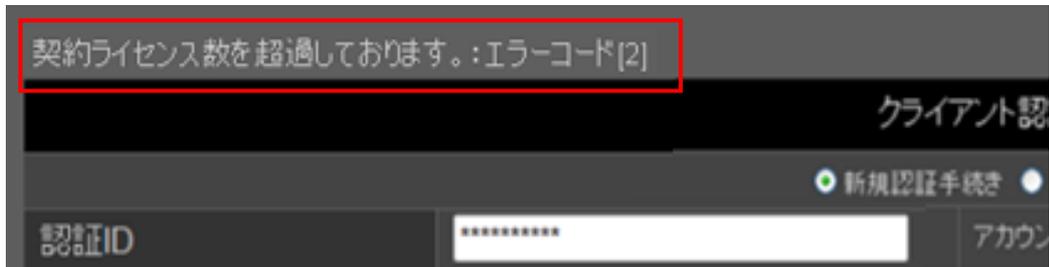
お申込ライセンス数より多くの端末のセットアップを試
みた場合、図2のようなエラーが表示され、本設定より
先にはお進みいただけません。追加ライセンスのお申込
をお願いいたします。



図1



図2



設定編 クライアント認証（交換手続き）

■「クライアント認証」（交換手続き）とは
故障時に、別のデザサインBOXと交換する手
続きです。

■ 設定方法

- ① 「交換手続き」を選択します。
- ② 「認証ID・認証パスワード」を半角
英数字で入力します。
- ③ 「旧製造番号(筐体の製造番号※)」を入力
します。(12桁)
※筐体裏側に記載されています。

- ④ 入力完了後、「手続き」ボタンを押します。
交換手続きが実行されます。

交換手続き完了後、自動的に「同期設定」ペー
ジに移動します。

（機器交換後は「同期設定」ページの「同期設
定」項目が「同期しない」に変更されています。
必要に応じて設定を変更して下さい。）



設定編 クライアント認証（解除手続き）

■「クライアント認証」（解除手続き）とは
デザインサーバからデザインBOXを認証
解除する
手続きです。

■ 設定方法

- ①「解除手続き」を選択します。
- ②「認証ID・認証パスワード」を半角英数字で入力します。
- ③入力完了後、「手続き」ボタンを押してください。
解除手続きが実行されます。

解除手続き完了後、自動的に「ネットワーク設定」ページに移動します。

クライアント認証

最終同期時刻 2023年07月14日18時10分 現在の配信ステータス 待機中

メニュー

クライアント認証

解除手続き ①

認証ID	<input type="text"/>	アカウント情報に記述している認証IDを入力してください。
認証パスワード	<input type="password"/>	アカウント情報に記述している認証パスワードを入力してください。
端末名称	<input type="text"/>	機器の名称を入力してください。(デザイン管理システムに表示する名称です。)
旧製造番号	<input type="text"/>	交換する前の筐体の製造番号を入力してください。

手続き ③

クライアント認証

- 同期設定
- 設定診断
- リフレッシュ設定
- 音量設定
- スケジュール再生
継続設定

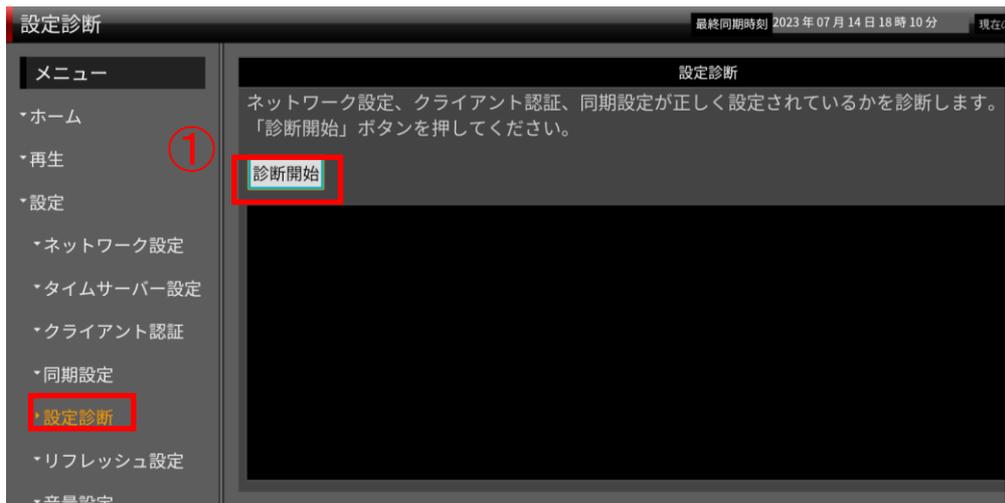
設定編 設定診断

■「設定診断」とは

デザインサーバと通信ができ、ネットワーク設定、クライアント認証、同期設定が正しく設定されているか診断します。

■ 診断方法

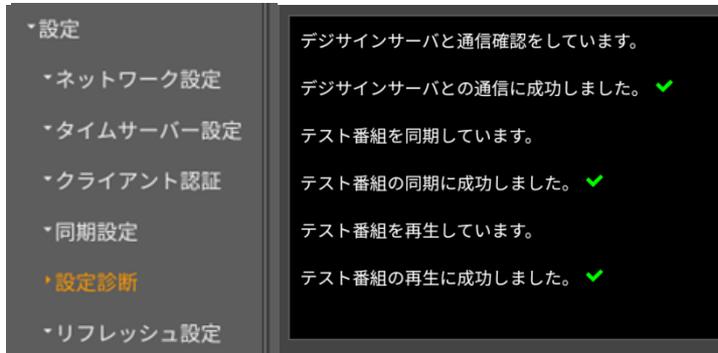
- ①「診断開始」ボタンを押すと診断を始めます。
- ②テスト番組（動画・テロップ）の再生を行ないます。
- ③診断結果が表示されます。



②テスト番組(動画) 再生画面



③診断結果



設定編 リフレッシュ設定

■ リフレッシュ設定とは

デザインBOXは、1日1回必ず電源を落とす必要があります。

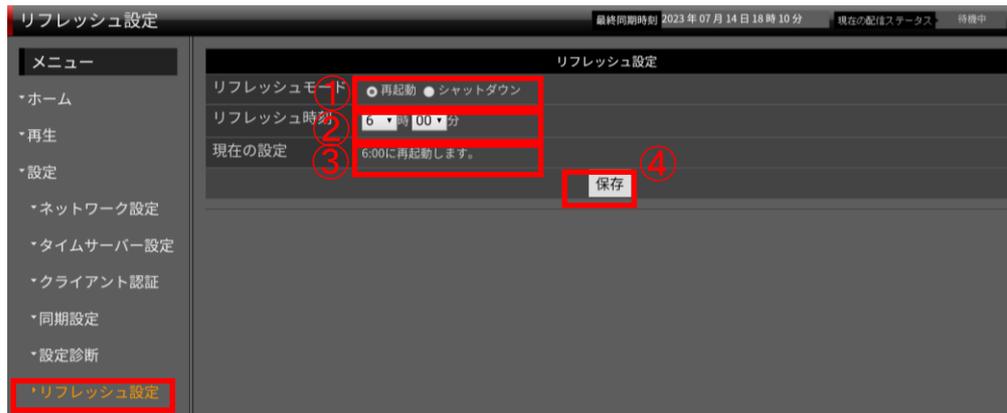
リフレッシュ設定で指定した時間に、シャットダウンまたは再起動します。

(初期設定は「AM6:00に再起動」となっています)
デザインBOXのご利用上、最も影響のない時間を指定してください。

■ 設定方法

- ①リフレッシュモード 再起動またはシャットダウンを選択します。
- ②リフレッシュ時間 再起動またはシャットダウンする時間を指定します。
時間は10分単位で指定できます。
- ③現在設定 現在設定されているリフレッシュモードとリフレッシュ時間が表示されています。

設定を変更する場合は、変更入力後、④「保存」ボタンを押します。



設定編 同期設定(1/3)

■ 「同期設定」とは

デジサインサーバ利用有無の設定を行います。

※端末ID、インターフェースURLは機器認証(クライアント認証 20ページ参照)時に自動で登録されます。お客様操作では変更できません。

■ 設定方法

「同期設定」を選択すると、デジサインBOXの同期設定画面が表示されます。

同期設定

最終同期時刻 2023年07月14日18時10分 現在の配信ステータス 待機中

メニュー

- ホーム
- 再生
- 設定
 - ネットワーク設定
 - タイムサーバー設定
 - クライアント認証
 - 同期設定**
 - 設定診断
 - リフレッシュ設定

同期設定

同期設定 ①

同期しない ② 同期する

端末ID *****

インターフェースURL https://! *****

保存 ③

同期間隔指定

同期時間 (分) 10

保存

同期指示

同期指示

【デジサインサーバを利用しない場合】

① 「同期しない」を選択

【デジサインサーバを利用する場合】

② 「同期する」を選択

・ 「同期しない」を選択している場合
スケジュール情報、素材の更新が行われません。
一時的に同期を止めたい場合、「同期しない」を選択してください。

・ 「同期する」を選択している場合
同期時間で設定している時間にデジサインサーバと同期し、スケジュール情報、素材の更新を行います。

同期設定を更新する場合は、ラジオボタンを選択後、③ 「保存」ボタンを押してください。

設定編 同期設定(2/3)

■ 「同期間隔設定」とは

設定した間隔でデジサインサーバと同期を行います。

間隔は1分～10分まで設定できます。
初期設定は10分です。

■ 設定方法

- ① 同期時間を選択します。
- ② 「保存」ボタンを押します。

同期設定

最終同期時刻 2023年07月14日 18時10分 現在の配信ステータス 待機中

メニュー

- ホーム
- 再生
- 設定
 - ネットワーク設定
 - タイムサーバー設定
 - クライアント認証
 - 同期設定**
 - 設定診断
 - リフレッシュ設定

同期設定

同期設定 同期しない 同期する

端末ID *****

インターフェース URL https://! *****

保存

同期間隔指定

同期時間 (分) ① 10

② 保存

同期指示

同期指示

設定編 同期設定 (3/3)

■ 「同期指示」とは

デジサインサーバと同期を行い、更新されたスケジュールデータ、プレートデータ、テロップデータ、静止画・動画素材のダウンロードを行います。

デジサインサーバで更新したデータを素早くダウンロードしたい場合にご利用ください。

■ 実行方法

「同期指示」ボタンを押します。ボタンを押すとデジサインサーバと同期を開始します。

デジサインサーバに更新されたスケジュールデータ、プレートデータ、テロップデータ、静止画・動画素材があった場合、更新されたデータのみダウンロードを行います。

設定編 音量設定

■ 音量設定とは

スケジュール再生、アーカイブ再生で動画を再生するときの音量の設定を行ないます。

音量は10%から100%まで10%区切りで設定できます。

■ 設定方法

- ① 音量を選択します。（初期設定は100%です）
- ② 「設定」ボタンを押します。



設定編 スケジュール再生継続設定

■スケジュール再生継続設定とは

本日のスケジュールが無い場合、スケジュール再生を継続するか設定を行います。

■設定方法

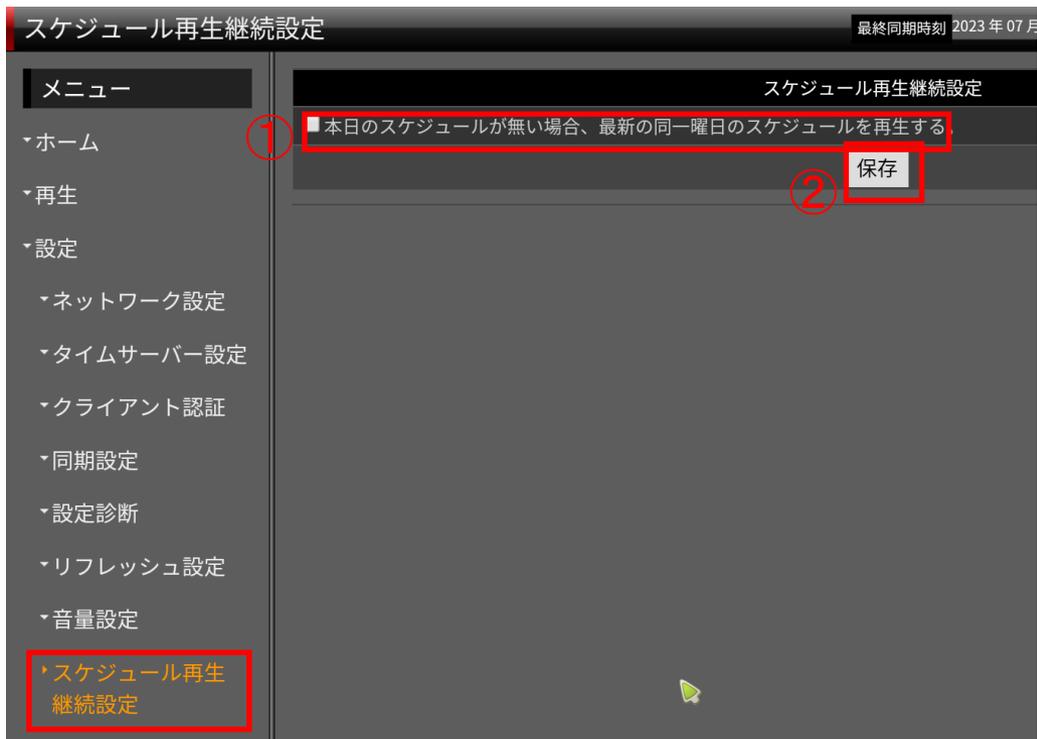
①本日のスケジュールが無い場合、最新の同一曜日のスケジュールを再生する。

この項目にチェックする、またはチェックを外す。

②「保存」ボタンを押します。

①のチェックをすると、本日のスケジュールが無い場合でも、最後に同期したスケジュールデータをもとに、本日の同一曜日のスケジュールで再生を継続します。

この項目にチェックをせず、本日のスケジュールが無い場合は下記のような画面が表示されます。



操作編

操作編 フォーマット

■ 「フォーマット」とは

コンテンツデータ（スケジュールデータ、テンプレートデータ、テロップデータ、静止画・動画素材）をデジサインBOXから削除します。

「スケジュール登録した番組が再生されない」、
「番組が正常に再生されない」場合等にご利用ください。

■ 操作方法

「フォーマット」を選択すると、フォーマット確認画面が表示されます。



【フォーマットを行う場合】

「OK」を押すと、コンテンツデータの削除が行われます。

【フォーマットを行わない場合】

「キャンセル」を押すと、メニュー画面に戻ります。

操作編 ログ表示 (1/4)

■ 「ログ表示」とは

デザインBOXのアクセスログ・プロセスログを確認できます。

■ 操作方法

「ログ表示」を選択すると、最新のログ10件が表示されます。(1ページに表示されるログは10件となります。)

表示されているログより過去のものを見る場合、「次へ」リンクを押すと11~20件目のログが表示されます。

最終のページが表示されると「次へ」リンクの表示が消えます。

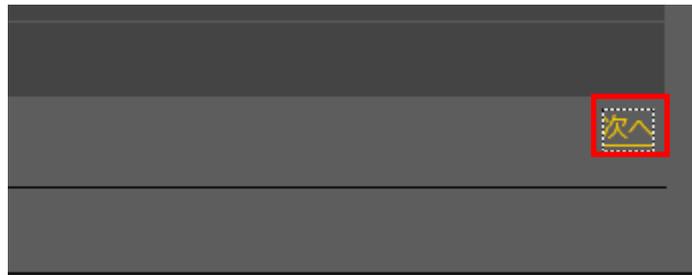
最新のログを見たい場合は「前へ」リンクを押してご覧ください。先頭のページが表示されると「前へ」リンクの表示が消えます。

ログはログファイル50KB [目安: 約60ページ] 分を保存いたします。古いログから順番に削除されます。

ログ内容に関しては、次ページのログ一覧をご覧ください。



日付	時間	メッセージ
7月1日	11:10:42	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。
7月1日	11:10:33	ダウンロード処理:終了しました。
7月1日	11:10:31	ダウンロード処理:開始しました。
7月1日	11:00:42	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。
7月1日	11:00:33	ダウンロード処理:終了しました。
7月1日	11:00:31	ダウンロード処理:開始しました。
7月1日	10:50:42	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。
7月1日	10:50:33	ダウンロード処理:終了しました。
7月1日	10:50:31	ダウンロード処理:開始しました。
7月1日	10:40:52	CBダウンロード処理の開始に失敗しました。



操作編 ログ表示 (2/4)
■ ログ一覧 1/3

メッセージ	メッセージ内容
システム：起動	デザインBOXを起動しました。
ネットワーク設定：取得失敗	他の処理を実行中です。しばらく経ってから再度設定してください。
ネットワーク設定：開始	ネットワーク情報の設定を開始しました。
ネットワーク設定：変更完了	ネットワーク情報の設定が完了しました。
ネットワーク設定：変更失敗	ネットワーク情報の設定に失敗しました。 本ログが表示された場合は、サポートセンターへお問い合わせください。
クライアント認証：開始	デザインサーバへのクライアント認証を開始しました。
クライアント認証：変更完了	デザインサーバへのクライアント認証が完了しました。
クライアント認証：変更失敗	デザインサーバへのクライアント認証に失敗しました。 クライアント認証（35ページ参照）での、認証ID・認証パスワードが異なるまたは、旧製造番号が異なる可能性があります。もう一度内容をお確かめの上、「手続き」をお願いいたします。
サーバー設定：変更	サーバー設定の変更が完了しました。
本体フォーマット：開始	フォーマット（コンテンツの消去）を開始しました。
本体フォーマット：終了	フォーマットが終了しました。
本体フォーマット：異常終了	フォーマットが正常に終了できませんでした。 本ログが表示された場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

操作編 ログ表示 (3/4)
■ ログ一覧 2/3

メッセージ	メッセージ内容
ダウンロード処理:開始しました。	【同期が開始されたときに表示されます】デジサインサーバよりコンテンツ情報（スケジュール、静止画・動画素材や番組など）のダウンロードを開始しました。
ダウンロード処理:終了しました。	【同期が終了したときに表示されます】デジサインサーバよりコンテンツ情報（スケジュール、静止画・動画素材や番組など）のダウンロードが終了しました。
ダウンロード処理の開始に失敗しました。	デジサインサーバの準備が完了していない状態、同期が完了している状態、同期処理を開始できない状態です 同期処理を開始できない状態：同期設定（40ページ参照）で「同期しない」に設定されているか、ネットワーク設定（33ページ参照）、ネットワーク環境（6ページ参照）に問題がある可能性があります。上記を一度ご確認の上再度同期を行ってください。
CBダウンロード処理:開始しました。	コンテンツバンクのダウンロードを開始しました。
CBダウンロード処理:終了しました。	コンテンツバンクのダウンロードが終了しました。
CBダウンロード処理の開始に失敗しました。	コンテンツバンクのダウンロードが必要ない状態(同期が完了している)、または同期処理を開始できない状態です。 同期処理を開始できない状態の場合、同期設定（40ページ参照）で「同期しない」に設定されているか、ネットワーク設定（33ページ参照）、ネットワーク環境（6ページ参照）に問題がある可能性があります。上記を一度ご確認の上、再度同期を行ってください。
ファームバージョンチェック:デジサインBOX:最新あり	デジサインサーバに最新ファームウェアが存在しています。ファームウェアアップデート（55ページ参照）を参考に作業を行ってください。

操作編 ログ表示 (4/4)

■ ログ一覧 3/3

メッセージ	メッセージ内容
apache起動確認：開始	Webサービスを開始しました。
apache起動確認：終了	Webサービスを終了しました。
ファームアップデート：開始	デジサインBOXのファームウェアのアップデートを開始しました。
ファームアップデート：実行	デジサインBOXのファームウェアのアップデートを実行しました。
ファームアップデート：失敗	デジサインBOXのファームウェアのアップデートに失敗しました。

操作編 デジサインファームアップ

■「デジサインファームアップ」とは

USBメモリからデジサインファームウェアをアップデートすることができます。

■ファームアップ方法

※本操作にはファームアップデータが保存されているUSBメモリが必要です。

※アップデートファイル名は「digisign_update.zip」にする必要があります。

ファームアップデータが保存されているUSBメモリを挿入した状態で「ファームアップ」を選択すると、ファームウェアアップデート画面が表示されます。

アップデートするファームウェアのバージョンを確認し、「確認」ボタンを押してください。

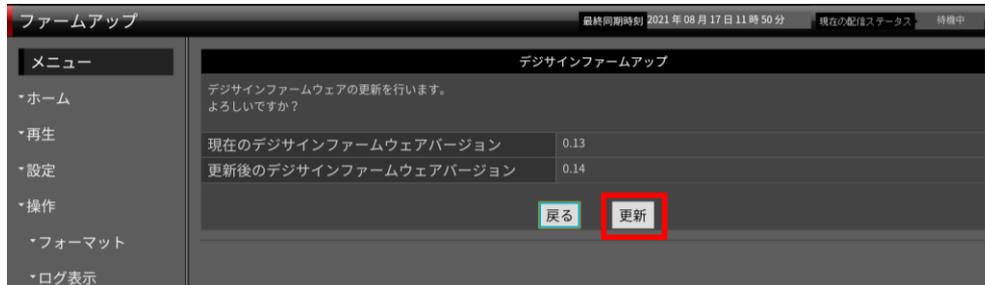
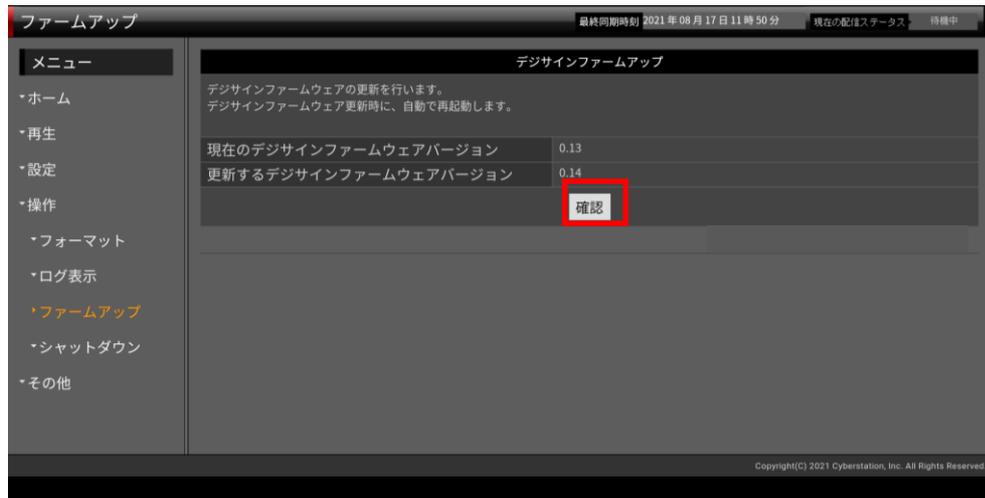
※更新するファームウェアファイルのバージョンが、現バージョンよりも新しくなければ、バージョンアップすることができません。

バージョンを確認し、異なるバージョンのファームウェアをアップする場合、USB内のアップデートファイルを変更し、やり直してください。

確認ボタンを押した後、「更新」ボタンを押します。戻るボタンで一つ前の画面へ戻ることができます。

アップデートが実行され、自動的に数回再起動します。数回の再起動後、「スケジュール再生」が開始されます。

※ファームアップ実行中は、リモコン操作を行わないでください。



操作編 シャットダウン

■「シャットダウン」とは

デザサインBOXを再起動またはシャットダウンします。

■キャンセル

①「キャンセル」ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

■シャットダウン

②「シャットダウン」ボタンを押すと、シャットダウンします。

再度電源を入れる場合はリモコンの電源ボタンを押してください。

■再起動

③「再起動」ボタンを押すと、再起動します。



その他

その他 使用許諾

■ 「使用許諾」とは

本製品のソフトウェアのライセンス契約について記載されています。

ご一読の上、本製品をご使用ください。

※本端末のOSに関する署名は、ホーム画面にある「設定」の「端末情報」よりご参照いただけます。

使用許諾

最終同期時刻 2021年08月12日 22時00分 現在の配信ステータス 待機中

メニュー

- ホーム
- 再生
- 設定
- 操作
- その他
 - 使用許諾

本製品のソフトウェアについて

【デザサインプレイヤー使用許諾契約書】

使用許諾契約書

この使用許諾契約書（以下、「本契約」といいます。）は、お客様とサイバーステーション株式会社（以下、「当社」といいます。）との間で締結する、当社ソフトウェア製品「デザサインプレイヤー」（以下、「本ソフトウェア」といいます。）の使用に関する契約です。お客様が本ソフトウェアの使用を開始した時点で、お客様は本契約の全ての規定に同意したものとみなされますので、使用する前に本契約を必ずお読みください。本契約に同意できない場合は、お客様は本ソフトウェアを使用することはできません。お買い上げ後30日以内に、未使用の本ソフトウェアを当社にもしくは当社パートナーにお戻しください。

第1条 (定義)

本契約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるとおりとします。

(1) 対象サービス

当社所定の仕様を有するサーバコンピュータ、クライアントコンピュータおよび当社所定のソフトウェアに基づき実現されるデジタルサイネージサービス「デザサイン」をいいます。

(2) 本ソフトウェア

本ソフトウェアを構成する、コンピュータプログラム（補修プログラム、アップデートプログラムにより改変された場合、それを含まず。）およびマニュアルその他関連資料を含む全部をいいます。

第2条 (使用条件)

本ソフトウェアは、当社所定の機器（以下、「対象機器」といいます。）にインストールされて提供されます。お客様は、本ソフトウェアを、対象機器においてのみ使用することができます。

2.お客様は、本ソフトウェアを、対象サービスを構成するクライアントコンピュータ用ソフトウェアとしてのみ使用することができます。お客様は本ソフトウェアを使用して、当社所定のASPサービスまたは当社所定のソフトウェアが導入（インストール）されたサーバコンピュータに接続することにより、対象サービスを利用することができます。

3.本ソフトウェアが対象機器のRAM等に一時メモリにロードされたときに当該対象機器において使用されたものとします。

第3条 (禁止事項)

その他 デジサインファームウェアアップデート

■「デジサインファームウェアアップデート」とは
デジサインサーバに最新のファームウェアがアップ
ロードされたときに表示されます。

■操作方法

スケジュール再生時、または電源を入れた時に、最
新ファームウェアがあった場合※1、ファームウェ
アアップデート選択画面が表示されます。

今すぐファームウェアをアップデートする場合は、

①「アップデートする」ボタンを押します。

後日アップデートする場合は、

②「アップデートしない」ボタンを押します。

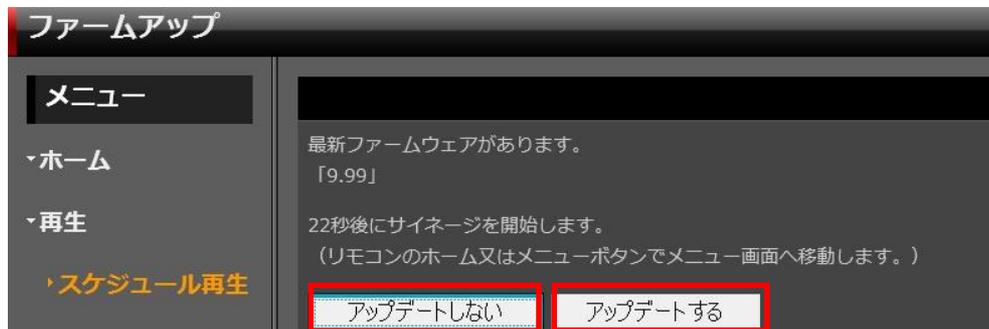
「スケジュール再生」が開始されコンテンツが表示
されます。

※1：本操作は、デジサイン管理システム「環境設定管
理」の「ファームウェアアップデート設定」で「手動ア
ップデート」を選択している場合に表示されます。

「自動アップデート」が選択されている場合は、右図の
ような画面は表示されず、自動的にアップデートが行わ
れますので、お客様側でアップデートのための操作をし
ていただく必要はございません。

「アップデートしない」が選択されている場合は、図の
ような画面は表示されず、アップデートも行われません。

既にファームウェアが最新の場合はファームウェアアッ
プデート画面は表示されずに「スケジュール再生」が開
始されます。

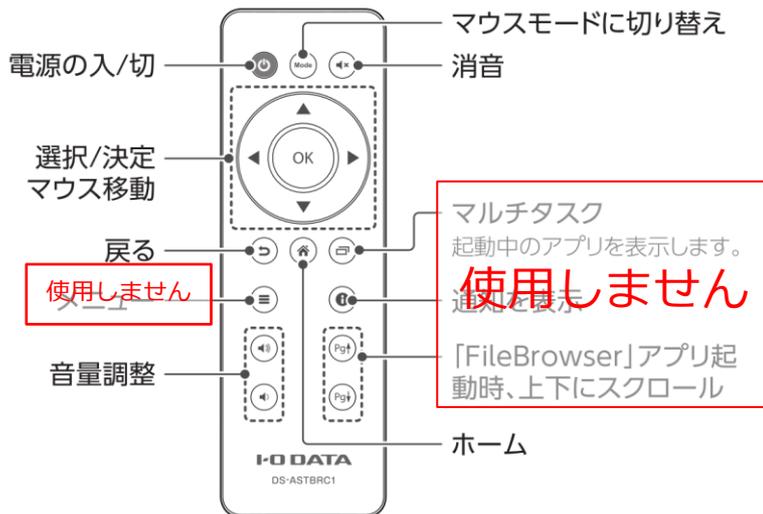


※ファームウェアアップデート実行中は、リモコン操作を行わないでください。

その他 リモコン操作

<リモコン>

※赤枠はデザインBOXでは使用しません。



ボタン	メニュー	スケジュール再生
電源	電源が切れます	
消音	ミュートを切り替える	
音量調整	音量を調節する	
マウスモード切替	マウスモードを切り替える	
上矢印	項目を移動する 設定値を変更する	メニュー画面を表示する
下矢印		次へスキップ
右矢印		-
左矢印		-
OK	メニュー選択を決定する 画面上のボタンを押す	-
ホーム	ホーム画面を表示する	
戻る	キーボード入力の終了	-

運用例

運用 デジサインBOXの電源の状態とリフレッシュ動作について

■ リフレッシュ機能について

デジサインBOXは機器の品質保持のため「リフレッシュ設定」により1日1回、シャットダウンまたは再起動を行いますが、デジサインBOXの電源の状態によってリフレッシュの動作が異なるため、運用に合わせたリフレッシュ設定を行う必要があります。

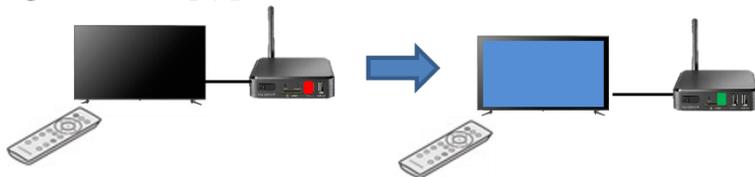
■ 基本的なリフレッシュ機能の動作について

STBの電源の状態	リフレッシュの設定	リフレッシュの時刻になった時の動作
電源切（ランプ赤）	シャットダウン	デジサインBOXの電源は切れたまま何も起こらない
	再起動	デジサインBOXの電源は切れたまま何も起こらない
スタンバイ（ランプ赤） ※1	シャットダウン	デジサインBOXがシャットダウンし、電源が切れる
	再起動	デジサインBOXは再起動せず、スタンバイのままになる
電源入（ランプ緑）	シャットダウン	デジサインBOXがシャットダウンし、電源が切れる
	再起動	デジサインBOXが再起動し、電源が入った状態になる

※1：ディスプレイ連動機能を利用する場合にSTBの電源の状態がスタンバイになることがあります。
 ディスプレイ連動機能については、本誌

運用 ディスプレイ連動機能について

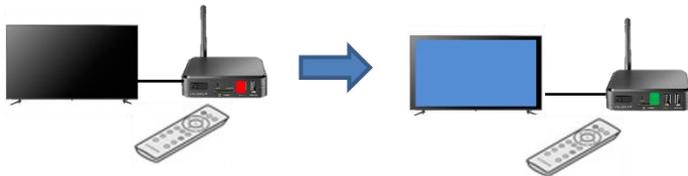
①ディスプレイの電源をON



②ディスプレイの電源をOFF



③STBの電源をON



④STBの電源をOFF



ディスプレイ連動機能とは、「HDMI CEC機能」を使い、ディスプレイとSTBの電源が連動して動作する機能です。

この機能を利用することで、ディスプレイ（モニター）の電源をON/OFFしたとき、ディスプレイに連動してSTBの電源をON/StandByすることができます。

また、STBの電源をON/OFFしたときに連動してディスプレイの電源をON/OFFすることもできます。

（本機能はデフォルトではOFFに設定されております。）

本誌では、ディスプレイ連動機能を利用する場合の注意点と、想定される運用と設定方法について説明します。

運用 ディスプレイ連動機能について

■ HDMI CECの設定

※デザインBOXでHDMI CECを利用する場合、使用するモニターのCEC機能を有効にしてください。

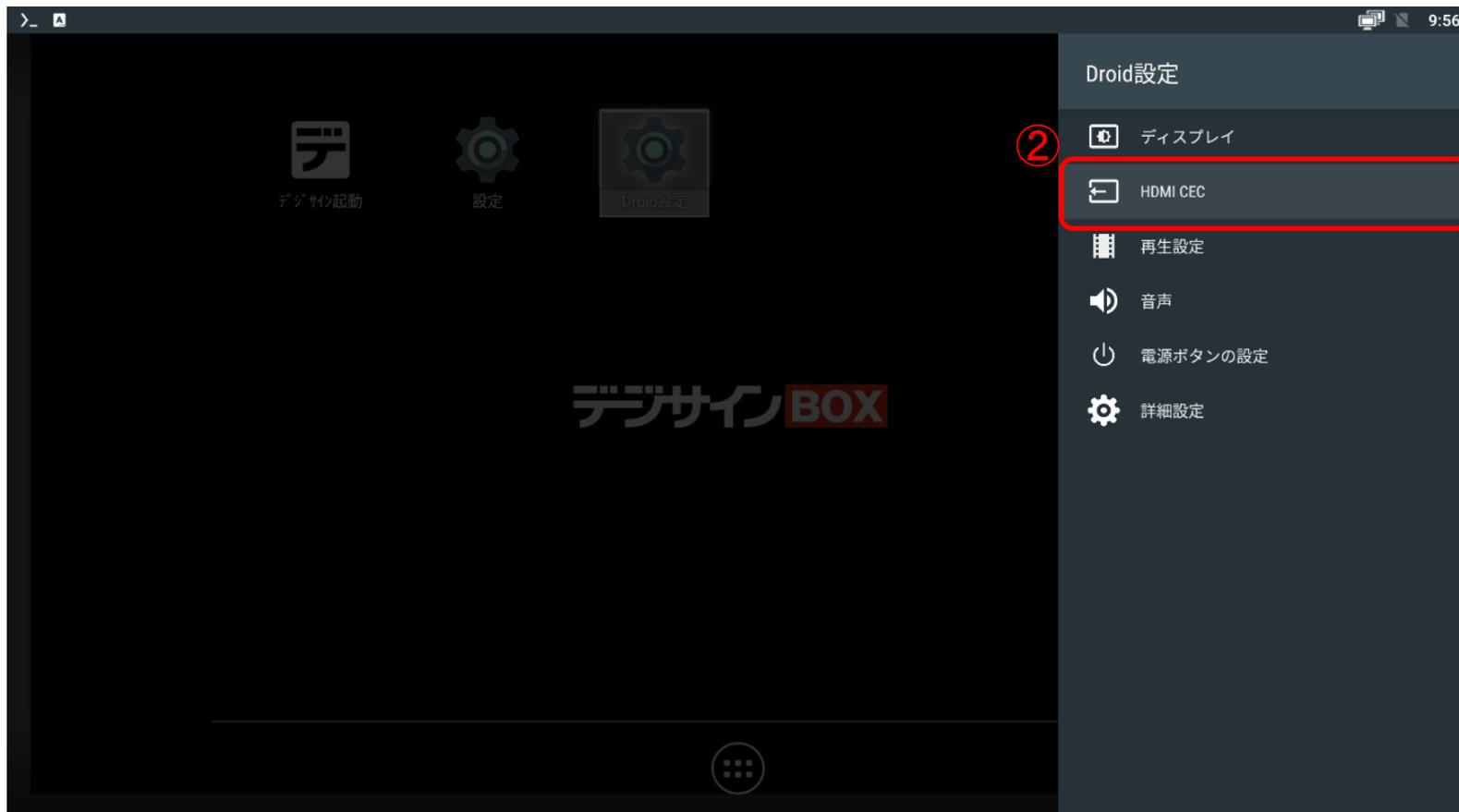
※使用するモニターの種類によりCECの動作が異なる場合があります

1. リモコンの「ホーム」ボタンを押し、ホーム画面を表示します。
2. ①の「Droid設定」アイコンを選択して「OK」ボタンを押します。



運用 ディスプレイ連動機能について

3.メニューより②の「HDMI CEC」を選択します。



運用 ディ스플레이連動機能について

3. CEC制御より③の「CECスイッチ」を選択します。
「CECスイッチ」はデフォルトでOFFとなっております。（下図）
ONにすることでデジサインBOXのCEC機能が有効になります。



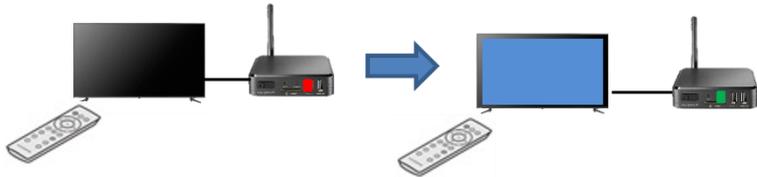
運用 ディスプレイ連動機能について

・ディスプレイ連動機能を利用する際の注意点

ディスプレイ連動機能を利用する場合は、以下の点に注意してください。

- ・ディスプレイ連動機能を使用するときは「HDMI CEC機能」に対応したディスプレイを使用してください。
- ・ディスプレイ側の設定で「HDMI CEC機能」を有効にしてください。

①ディスプレイの電源をON



②ディスプレイの電源をOFF



- ・上記「①ディスプレイの電源をON」したときにSTBの電源をONにする場合は、STBがStandBy状態である必要があります。

STBの電源がOFFのときは動作しません。

※STBは上記「②ディスプレイの電源をOFF」の操作をした時にStandBy状態となります。

- ・上記「①ディスプレイの電源をON」したときにSTBの電源をONにする場合は、「パワーリンク」という機能に対応したディスプレイ（アイ・オー・データ機器製）を使用してください。



- ・STBの「リフレッシュ設定」が指定した時刻に再起動する設定の場合、STBがStandBy状態のときは指定した時刻になっても再起動は行われません。
- ・全てのディスプレイで動作を保証するものではありません。

運用 ディスプレイ連動機能について

運用例：ディスプレイの電源で運用するパターン

■ 運用方法

- ①業務開始時にSTBの電源をOFF（電源ランプ赤）からON（電源ランプ緑）にする
⇒ディスプレイの電源がOFFからONになります。
- ②業務終了時にSTBの電源をON（電源ランプ緑）からOFF（電源ランプ赤）にする※1
⇒ディスプレイの電源がONからOFFになります。
- ③（翌日）業務開始時にSTBの電源をOFF（電源ランプ赤）からON（電源ランプ緑）にする
⇒ディスプレイの電源がOFFからONになります。

運用例	①STBの電源ON		②STBの電源OFF		③STBの電源ON	
ディスプレイ電源	電源OFF	電源ON	電源OFF	電源ON	電源OFF	電源ON
STB電源	電源OFF	電源ON	電源OFF	電源ON	電源OFF	電源ON

■ STBのHDMI C E C 機能の設定

CECスイッチ	ワンタッチプレイ	システムスタンバイ	パワーリンク
ON	ON	ON	ON

■ 注意事項

- ※ 1：パワーリンクという機能に対応したディスプレイ（アイ・オー・データ機器製）である必要があります。
また、STBがStandByではなく電源OFFの状態のときは、この機能でSTBの電源をONにすることはできません。
- ※ 2：STBがStandBy（電源ランプ赤）のときは配信サーバーとの同期は行われません。（電源OFFの状態と同じ）
また、STBのリフレッシュ設定が「再起動」に設定されているとき、StandBy（電源ランプ赤）中は再起動しません。

運用 ディスプレイ連動機能について

運用例：STBの電源で運用するパターン

■ 運用方法

- ①業務開始時にディスプレイの電源をOFFからONにする
⇒STBがStandBy（電源ランプ赤）から電源ON（電源ランプ緑）になります。※1
- ②業務終了時にディスプレイの電源をONからOFFにする
⇒STBが電源ON（電源ランプ緑）からStandBy（電源ランプ赤）になります。※2
- ③（翌日）業務開始時にディスプレイの電源をOFFからONにする
⇒STBがStandBy（電源ランプ赤）から電源ON（電源ランプ緑）になります。※1

運用例	①ディスプレイの電源ON	②ディスプレイの電源OFF	③ディスプレイの電源ON
ディスプレイ電源	電源OFF	電源ON	電源ON
STB電源	StandBy	電源ON	StandBy

■ STBのHDMI C E C 機能の設定

CECスイッチ	ワンタッチプレイ	システムスタンバイ	パワーリンク
ON	ON/OFFどちらでもよい	ON/OFFどちらでもよい	ON

■ 注意事項

- ※1：パワーリンクという機能に対応したディスプレイ（アイ・オー・データ機器製）である必要があります。
また、STBがStandByではなく電源OFFの状態のときは、この機能でSTBの電源をONにすることはできません。
- ※2：STBがStandBy（電源ランプ赤）のときは配信サーバーとの同期は行われません。（電源OFFの状態と同じ）
また、STBのリフレッシュ設定が「再起動」に設定されているとき、StandBy（電源ランプ赤）中は再起動しません。

資料に関する配布制限と取り扱いについて

この資料は、サイバーステーション株式会社【英語表記：Cyberstation, Inc.】（以下、当社という）が、当社の製品「デジサイン」に関わるソフトウェアの操作説明、機能、アップグレード方法、ファームウェア等の情報を記したものです。

この資料の配布については、ご利用者（商品のお申し込みをいただいたユーザ）、または、当社の販売パートナー・保守パートナー（当社とパートナー契約または売買契約書を締結した企業）と、当社社員に限定させていただきます。また、配布資料の取扱には十分ご注意をいただき、再配布は禁止します。

また、再配布については、当社が許可した場合のみ可能とし、当社と相対する競合企業や競合製品を持つまた、取扱する企業（以下、コンペジターという）には配布すること、情報を開示することを禁止します。

尚、この資料の内容については、表紙に記載されている日付の段階での情報となり、この情報に記載されていることを永久に保証、また、ユーザの商品をご利用いただいての業務改善や売上等を保証するものではありません。

各パートナー様においては、この資料を営業ツールとして使用する事は禁止します。

コンペジターへの情報開示も禁止します。

この資料を参考にパートナー自身や関連企業、子会社によるコンペジターとなりえる製品を開発することは禁止します。

サイバーステーション株式会社